

**アキュラホームの工務店経営支援システム「アキュラシステム」が
「産業・企業向けサービスシステム部門」で、業界初のグッドデザイン賞を受賞**

株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)は、工務店経営支援システム「アキュラシステム」で財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2010年度グッドデザイン賞 産業・企業向けサービスシステム部門」において「グッドデザイン賞」(Gマーク)を受賞しました。主に以下2点が高く評価され、この度の受賞に至りました。

・経営、技術など多様な要素を工務店の特性に応じて選択、活用し経営が安定化すること
・従来型の知識提供モデルではなく、利用企業同士の情報共有が持続的成長をもたらすこと
アキュラホームが開発した新しい形の工務店経営支援システムがグッドデザイン賞を受賞するのは、住宅業界では初めてのことです。またアキュラホームとしてグッドデザイン賞の受賞は今回で5回目となります。

**アキュラシステムの概要**

アキュラシステムは地域に密着した工務店による家づくりを適正価格で実現する、工務店経営支援システムです。元大工として現場を誰よりも知る社長の宮沢が自身の経験から「価値ある安さ」にこだわり、匠の心でまとめ上げました。開発当初は自社のために利用されておりましたが、アキュラホーム自身の事業拡大に大きく貢献したことから、経営の安定、成長を目指す地域工務店を支援する目的で1994年より供給を開始。工務店経営の本質を極めていくことを目指し、現在は住宅商品開発やマーケティング、高速積算、原価管理などの様々な業務支援システムに加えて、地域工務店向け研修制度、情報交換制度なども行なわれています。アキュラシステムはこれまで全国約2600社に導入されました。全国に点在する地域工務店によって蓄積される経験を、様々な要素に分解・体系化することで、工務店一社単独では入手困難な情報の収集、技術力、営業力、経営力を複合的にサポートすることができます。また、地域特性により抱える諸問題は様々であることから、地域工務店自らが現状の弱点を補填するためのメニューを選択、組み合わせることで地域に必要な力を発揮できるものとなりました。さらには全国の工務店がお互いにノウハウを提供しあい、共に教えあい学びあうという双方向コミュニケーションを強みとして、常に新しいノウハウへと更新され続ける知識共有・共創型ネットワークも併せ持っているのが最大の特徴です。

<利用している地域工務店の声>

「アキュラシステムを導入して、大手木造メーカーの下請けから脱却。この厳しい時代に元請けとして安定した受注をいただいています。」(株式会社鈴木工務店/愛知県)

「バブル崩壊でゼネコンから木造注文住宅へ新規参入しました。ゼロからのスタートでしたが、1年で11棟受注することができました。」(株式会社アート建工/鳥取県)

「家づくり、経営など、ベースが共通したアキュラシステムなので、他の導入工務店との交流を積極的に行ない、実践事例を共有しながら切磋琢磨しています。」(光建設株式会社/福島県)

今こそ工務店は地域の家守りの中心となるべき

今回の受賞を受け、アキュラホーム代表取締役社長の宮沢俊哉は「今回の受賞はアキュラシステムを育て、共に発展してきた地域工務店の皆様のおかげと大変光栄に思っています。急激な市場規模縮小の中で、今まさに建てては壊す時代から、良い家を建ててメンテナンスしながら住み継いでいく家へと変化しています。そしてこれからは“家守り活動”によるきめ細かなサポートを住まい手に提供することのできる、まさに永代続く地域工務店の時代であるといっても過言ではありません。日本の住宅の約7割は地域の工務店が建てているという現実を踏まえ、豊かな地域社会の実現に貢献するために今後もアキュラシステムを成長させていきたい」と語っています。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越(090-7843-6574) Email: horikosi@aqura.co.jp
住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F ホームページ: <http://www.aqura.co.jp>
TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560

【参考資料 1: “家守り活動”について】

アキュラホームが考える「家守り活動」とは

アキュラホームが常に目指すのは、家族のしあわせや未来を育む理想の住まいづくりです。作ったら終わりではなく、2代、3代と住み継いでいくための“家守り活動”を行なっています。今、住まい手にとって、なくてはならない家守り活動が工務店の減少とともに消えていくという現実があります。これに歯止めをかけるためにも地域工務店の存在が見直されるべきなのです。アキュラシステムを活用した元気な工務店が地域に根付いた活動を行ない、永代続く工務店として豊かな地域社会を実現していきます。

現在の日本において、「家守り活動」が必要な背景

既存住宅の老朽化が社会問題

フローからストックへと転化する中、現行法にあわない木造既存不適格住宅が 1000 万戸超存在するなど、専門事業者による適切な診断が今こそ必要。エコ時代に対応した断熱改修なども今後の論点に。

万が一の災害時における機動力が不足

過去の震災時をみても機動力不足による復興の遅れが危惧されている。災害初動時建物点検、復興支援など万が一の際には専門の機材を有した工務店の存在なくして早期復興はなり得ない。

高齢化社会におけるサポート不足問題が顕著に

独居世帯の増加に対し、日常生活における細やかなサポートが不足している。例えば電球の交換や廃品回収、草むしりなど。地域に根ざした工務店は御用聞きになりえる存在である。

「家守り活動」を支える日本最大の工務店ネットワーク「ジャーブネット(JAHBnet)」

ジャーブネットは全国 450 社の工務店・ビルダーが加盟する工務店ネットワーク組織。アキュラホームが 94 年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発。工務店経営支援システムとしてこれまでに約 2600 社の全国の工務店に導入されると共に、98年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャーブネット)を設立しました。ジャーブネットは全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに 10 年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供。2010 年 3 月にはジャーブネット販売累計が 80,000 棟を超えました。

「家守り活動」を高評価 グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

『従来型のフランチャイズ型知識提供では先頭に立つ企業の知識・ノウハウの限界がFCの全体の能力の限界となる。しかしこの地域工務ソリューションは工務店の特性に応じ選択的に経営、技術などの要素を取入れ経営を安定化させること、更に参加工務店の情報を共有し、要素毎に優れた工務店が先導教示するなど有機的進化モデルとなっている。家守り存続のための工務店経営支援システム、ユーザーへの持続的効用のための新たな進化型知識資産共有モデルのデザインとして高く評価した。』

【参考資料2: アキュラホームについて】

アキュラホームとは

「日本の住まいを安くする」をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダーです。工務店経営支援システム「アキュラシステム」を開発し、長期優良住宅などの高性能住宅でも一般的な価格よりも3割程度価格を抑えた適正価格で供給しています。また、創業以来32年にわたり、日本の住宅の適正価格化に努め、「住宅建設コスト低減コンペ」における建設大臣表彰、さらに東京都が進める東村山市本町地区プロジェクト「価格引き下げ実証実験」では圧倒的な低価格提案をもってプロジェクト事業者4社の内1社に選定され、全7期申込み倍率1位を記録しました。



日本最大の工務店ネットワークを支援

アキュラホームは全国の地域ビルダー・工務店450社によるネットワーク「JAHBnet(ジャープネット)」を主宰。そのスケールメリットを活用し、高品質・低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入しています。こうした活動は、多方面から注目され、経済産業省における「次世代省エネ住宅普及ビジネスモデル」の参考とされました。2005年には自らのIT活用に加え、住宅建設業界でのIT活用の普及に貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受章しました。

高品質な価値ある家作りへのこだわり

公開実大耐震実験で過去最大級の地震波を連続3回再現し、震度7クラスの激震を受けたにも関わらず、構造体に異常や損傷なく、極めて高い耐震性能が実証されました。また、住宅性能表示制度、7項目で最高等級に対応する高品質な家作りを行っています。



2005年より継続的にグッドデザイン賞を受賞

- ・2005年「匠階段(スケルトン)」
伝統工法の木組みの技術を駆使して組み立てられたユニークな階段
- ・2006年「ガラスウォール」
採光性とともにも多様な居住空間にもマッチする縦格子デザインの耐力壁
- ・2008年「オプティス・サステナブル」
新築住宅における価値持続の仕組みと、暮らし方サポートメニューを構築
- ・2008年「JAHBnet・リノベーションデザインプロジェクト」
地域工務店と住まい手、職人との新たな連携によって既存住宅の価値を再創造



<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F
電話	03-6302-5001(代)
創業	1978(昭和53)年10月
資本金	9,314万円
従業員数	776名(10年4月1日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売 住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	309.28億円(10年2月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp